

平成23年度給水装置工事主任技術者試験正答番号一覧

科目名	問題番号	正答番号
公衆衛生概論	問題1	2
	問題2	- (別紙参照)
	問題3	4
水道行政	問題4	3
	問題5	2
	問題6	3
	問題7	1
	問題8	4
	問題9	1
	問題10	4
給水装置工事法	問題11	2
	問題12	- (別紙参照)
	問題13	4
	問題14	3
	問題15	1
	問題16	2
	問題17	1
	問題18	3
	問題19	4
	問題20	4

科目名	問題番号	正答番号
給水装置の構造及び性能	問題21	1
	問題22	3
	問題23	1
	問題24	1
	問題25	4
	問題26	1
	問題27	3
	問題28	2
	問題29	4
	問題30	3
給水装置計画論	問題31	3
	問題32	1
	問題33	2
	問題34	3
	問題35	2
給水装置工事事務論	問題36	4
	問題37	3
	問題38	1
	問題39	4
	問題40	4

科目名	問題番号	正答番号
給水装置の概要	問題41	3
	問題42	3
	問題43	2
	問題44	2
	問題45	2
	問題46	2
	問題47	4
	問題48	2
	問題49	2
	問題50	3
給水装置施工管理法	問題51	3
	問題52	1
	問題53	3
	問題54	4
	問題55	2
	問題56	4
	問題57	2
	問題58	3
	問題59	3
	問題60	4

※問題2及び問題12につきましては別紙のと通りの扱いといたします。

* 問題2及び問題12について

・問題2の選択肢(3)の「約400人の死者」につきましては、平成9年度の厚生白書に「400人余りが死亡した」との記載があるものの、その後死亡者数について諸説が出されており、死亡者数を特定できないことから、選択肢(3)が適当か不適当かを判断できないため、問題2については受験者全員を正解の扱いといたします。

問題 2 水道水や井戸水に起因して健康に影響を及ぼした水質汚染等の事例に関する次の記述のうち、不適当なものはどれか。

- (1) 日本では、2000年以降水道水や井戸水に起因して健康に影響を及ぼした水質汚染等の事例は報告されていない。
- (2) 1996年に埼玉県^{おごせまち}越生町の水道がクリプトスポリジウムにより汚染され、住民約14,000人のうち8,000人以上が感染した。
- (3) 1993年米国ミルウォーキーの水道でクリプトスポリジウムが原因となって40万人を超える患者の発生があり、約400人の死者が出たと報告されている。
- (4) 1990年浦和市の幼稚園で、井戸水が原因となる病原性大腸菌^オO-157の集団感染により、園児250人以上が発症し、2人が死亡した。

・問題12の”エ”の埋設管明示シートの敷設位置につきましては、全国的に統一された数値が定められておらず、管の上部より30cmの位置とする場合もあれば、そうでない場合もあることから、”エ”が適当か不適当かを判断できないため、問題12については受験者全員を正解の扱いといたします。

問題 12 給水管の明示に関する次のア～エの記述のうち、適当なものの数はどれか。

- ア 道路部分に布設する口径75mm以上の給水管には、明示テープ、明示シート等を施し、管を明示する。
- イ 将来的に布設位置が不明となるおそれがある管路及び止水器具に対しては、明示杭(見出杭)又は明示釘等を設置するか、オフセットを測定することにより位置を明らかにする。
- ウ 埋設管明示テープには、青地に黒い文字で設置年を西暦で明示する。
- エ 埋設管明示シートは、管の上部より30cmの位置に連続して敷設する。

- (1) 1
- (2) 2
- (3) 3
- (4) 4